

苦しんで
泣いて
抱き合っている
二人の姿が
とても
可愛らしい

Painful and inexplicably lovely

R-18 for ADULT ONLY

TOKYO REVENGERS Unofficial Fanbook #01
BY gumichocomelon(niku)
Keisuke Baji × Chifuyu Matsuno



Painful and inexplicably lovely.


注意

この本はR-18です。
18歳未満の方の閲覧は固くお断り致します。
—コマ緩めの断面図有り。

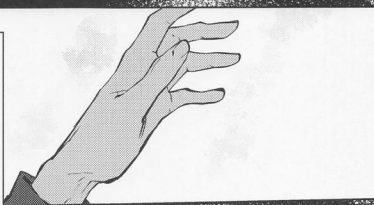
血ハロで場地さんが死ななかったif
代わりに千冬が刺されています。

一虎が2人の応援をしています。

少しモブが出てきます。



あの日、
流れる血の熱さを
どこか遠くに感じながら



これでやっと…
場地さんの中の
消えない1番になれるって



オレは笑ってたんだ



血のハロウィン

場地さんに向けられた刃を
オレが受ける事によって
場地さんは大きな怪我もなく
喧嘩を終えて東朧に戻ってきた

稀咲は除名され
マイキー君と一虎君も和解し
場地さんの愛した東朧が
再び訪れたのだ

初代

よかった

また場地さんと一緒に
喧嘩できるんスね

嘘だ

オレは生きて
1番になり損ねて

創設メンバーしか
知らない場地さんとか

もうオレは…
場地さんの1番には…

そんなの嫌だ

創設メンバーだけに
打ち明ける悩みとか

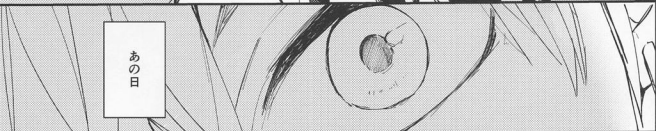
東巴は場地さんの家で
溢れてる

ごめんな千冬

それじゃあ

?

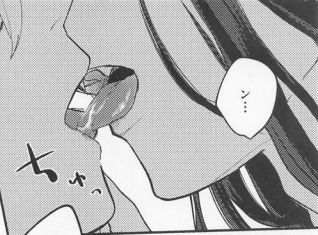
スッ



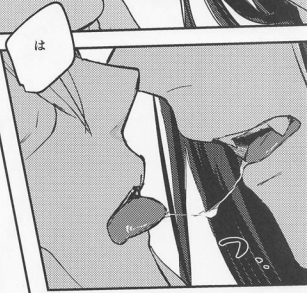


好きだ、千冬

失くしかけて
やっと気づいた



ン...



は





同意なくチーしちゃった
うん



オレを
場地さんの1番に
してくれるんスカ？



うっ...

...

やっ...



だ
だ
だ
び
び
び



やっつった

!!!

さ、叫びたい
オレは場地さんの1番
オレは場地さんの1番...

お、オイ！
傷開くから
やめろ！

ウルセー！
病院だぞ！

こうしてオレは
まんまと場地さんの
1番を手に入れた

病 院

そして
12年後

おはようございます

午後の幹事会…

場地さん！

千冬

また一人で
危ない仕事
したんですか


気にすんな
全部返り血だ

でも…

スッ







お前とやっつてんのに
仕事の話なんか
したくねーよ



オレが居ない間も
自分でしてたんだから
久しぶりなのにぐずぐず

っ…そんな

オイ余裕だなあ
考え事か？

場地さんのっ
ことですよ！

オレが考えてんのはっ
いつだって！

…千冬う

お前首噛まれながら
獣みたいに中出しされるの
好きだよなあ

ナカ締まった

お望みどーり
やってやるよ



気持ちいい
は、



気持ち良くて



まあ

場地さん

会って身体を繋げて
また1人で仕事に
向かうあなたの



側
に
い
る
に
は

ど
う
し
た
ら
い
い
で
す
か







愛されて
守られてるのは
わかるんすけど

もっと側にいたいし
オレに頼ってほしいん
ですよ



どうせオレは
事務仕事なんで
大丈夫です

まあでも
最近ぶつかってんの
結構やべー奴らしいし
ほんとに気をつけろよ

とりあえず！
賄賂も受けとったし
協力してくれますよね？
一虎君

は？
これ賄賂!?

チヂン!!



場地さんがまた一人で
危ねえ仕事しようとしてたら
教えてくださいよ!

絶対！
絶対っすよ!!!

はいはい…

つてもなあ



なるべく使える部下は
連れて行くけど
ここを手薄にするわけにも
いかねえし…
一虎は千冬から離れんなよ

はい



出張が決まった

こんな時期に？

ああ、裏があんだろーな
多分仕掛けてくる



なあ場地



もつと千冬を
頼ってやりやいいじゃん
あいつは…

千冬はもう傷つけねえ
だからお前を監視につけてんだろ

スッ



今度は場地的になんか
あったらどうすんだよ

それに
恋人なら側で支えたい
もんだろ……!



なんでも自分で
背負い込みすぎなんだよ

昔から



場地的も頑固なんだよな……



松野さん
場地的さんが出張から
戻られましたよ

数日後



オレもこんな仕事
ばっかじゃなくて
場地的さんの側にいたい

早く出張終わらなねえかなあ





一人だけ明らかに
大切に扱われてて
カゴの鳥！

普段表と一緒にいないし
気づくまでに時間が
かかっちゃって！
でもそうですよ



愛されてるんですね

フッ



場地圭介の弱点



右眼は



あの日から

時々

ぼやけて





また場地さんに
呪いをかけてしまう





あれ？
どこだ…？

場地さん…？



ああ
どうしていつもそうやって

一人で抱えて
自分だけ苦しんで

そんな悲しい顔をするんですか



もう傷つけねえから

違う

そうよってのは
オレだ

場地さんが一人で背負って突っ走るのは


いつだって

誰かの為だった





言わなきゃ



ずっとずっと
側にいた腹心でしょう



もう一人で
行かないで

頑張らなくて
いいんです



場地さん

オレはアンタの仲間
で
コイビトで



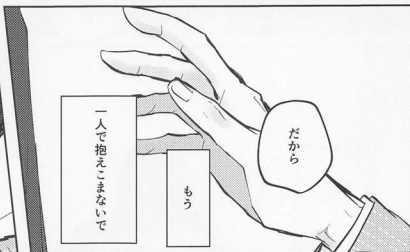
場地さんが

1番^す紐^がれる存在になりたい



好きなんです…

場地さん
好きです



一人で抱えこまないで

もう

だから



もっとオレを頼って
楽しいのも悲しいのも

全部：分け合って
半分コして下さいよ

オレは



ほんとに
手放さなきゃって思ってた

オレの側に置いたら
お前をまた傷つける

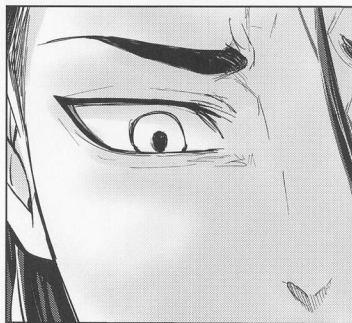
でも

千冬になんかあったら……
って思うのに
安全に幸せに生きてほしいって
思うのに……

千冬を失いかけてからずっと

千冬のこと
手放せなかった



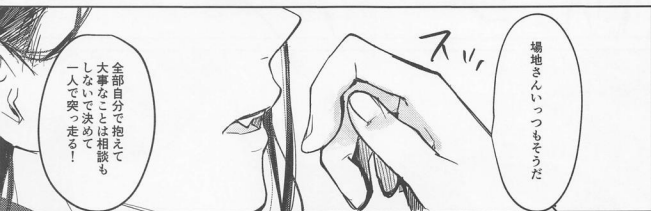




やっと聞けた

場地さんのきもち

……



場地さんいつもそうだ

スッ

全部自分で抱えて
大事なことは相談も
しないで決めて
一人で突っ走る!



こーなってるんですよ

カチカチカチカチ
カチカチカチカチ



でも、ま

いま
そうなっちゃってんのは
オレのせいなんですよね



あの時も、今回も…

オレは生きてる



血のハロウィンで
場地さんを悲しませた事が
重りになったなら…
それはすみません

でも



オレは場地さんの腹心でもあって
場地さんを守るために
ここにいるんですから
場地さんの死ぬ1秒前までは
死にませんよ



腹心は心の奥底
どんなことでも打ち明けて
相談できる人を意味するんです

フ...



ね

キリッ



だから、あの頃みたいに

なんでも二人で分け合って
一緒に生きていきましょう



手を繋いだら



呪いを消せば



2人なら

歩いていける

また一緒に



全部愛して

分け合って

生きていこう

そういうえば
敵対してた組織は？





こんなオレ
嫌いですか…？



お前大人になって
図々しくなったよな



…
嫌いじゃねえケド



よかったなー！

オレも
場地さん大好きです！

知ってる

だも中に
入れちゃーいだよな

おわり

シャツガーター
描きたかったおまけ

あっ

ばじき、
だめです……!

会議……
はじまっちゃ……

いや

お前がこんな
エロい格好してんのが悪い

※一回パンツ脱がせて
またガーター装着した。

んんが
んんが



お読み頂きありがとうございます！

初めての本作りで右も左も分からず…描き始めて3日くらいで全データ消してしまい描き直し…
終盤でコマ割りやトーンについてそうだったのか！な事態も発覚し…色々ありましたが
なんとか完成しました！

もし血八口で千冬が刺されていたら、この先場地さんにとって千冬が傷つくことが
地雷になるのではという思いと、場地さんが生きていたら千冬は「今度こそ頼って！」と
思うんじゃないかなと考えて描いたおはなしでした。
一虎は血八口を許してくれたばじふゆに忠誠みたいな気持ちがあって、場地さんにも信頼
されているので千冬を任せる監視役になりました！（補足）
ばじふゆずっと一緒にいるべきです…ばじふゆの幸せを願ってます…！



感想頂けるととても嬉しいです！

匿名です。

TwitterのDMにて嬉しいです…🥺

DMは匿名じゃないです。

スペシャルサンクス

鳥野さん♡

いっぱいお読みいただき
ありがとうございます！

「苦しくて、どうしようもなく愛おしい」
2022.03.27

サークル グミチョコめるん(肉)
発行者 まそら
Twitter @masoool
pixiv 931969
Mail txh_0805@yahoo.co.jp

印刷 栄光印刷様

この本は個人で制作した非公式ファンブックです。
原作者様、出版社様とは一切関係がありません。
また、オークション・フリマアプリへの出品及び
複製、複写、SNS等web上への掲載は禁止です。

苦しくて、
どうしようもなく愛おしい

TOKYO REVENGERS Unofficial Fanbook #01
BY gumichocomelon (niku)

Keisuke Baji × Chifuyu Matsuno

Painful and inexplicably lovely.